

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和 5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20064
事業名	広報一般事務費					
評価担当課	所 属 (総) 広報部 広報課				電話番号	011-211-2036
施策名	—					
アクションプラン	○対象 ●対象外					
事業の性質	●経常経費		○臨時的経費		○内部管理	
	○法定経費		○指定管理			
	○直営		●一部委託		○全部委託	
		○補助・助成		○その他		
事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	札幌市が行う様々な取組や災害情報等の必要な情報を、伝えたい情報の特性に応じた媒体によって適切に市民へ広報する必要がある。				
	事業内容（何を実施し）	各種媒体を利用した広報として次のことを実施した。 ①インターネットを利用した広報の調整、札幌市ホームページの管理 →ホームページにより市政情報の発信を積極的に実施（トップページアクセス数：14,215,782件） ②主に本市転入者向けに市の施設・制度等を紹介する冊子である「市民便利帳」の発行 →市民便利帳80,000部、別冊さっぽろさんぽ25,000部を発行し、転入者へ配布するとともに各所へ配架 ③職員が地域に出向き、市政情報の提供と市民との直接対話を行う「出前講座」の総括 →市民の関心の高いテーマを選定し、11分野200のテーマで608回実施、31,345人受講 ④ふれあいパンフレットコーナーにおける各種パンフレットの配布、サッポロスマイル市政PRコーナーや内地下鉄駅掲示板における市政情報の発信 →パンフレットコーナーでは1,056件を配架 ⑤フォーリンプレスセンターを活用した海外向け情報発信 →2件の資料提供を実施				
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	市政情報を効果的に広報し、市民との情報共有を進めることで、市民と行政の信頼関係を築き、市民が主体となったまちづくりを進めていく。				
	他都市の状況	インターネット及び出前講座と同様の事業は、すべての政令指定都市で実施している。ふれあいパンフレットコーナー、市政展示コーナー、地下鉄駅掲示板については、各自治体において機能・形態は異なるが、庁舎外に行政（観光）の情報提供コーナーを有している。				
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 ■ 評価 □ 対象外				
	令和 4年度決算額	53,953 千円	うち特定財源	4,604 千円	正規職員業務量	7.00 人工
令和 5年度予算額	51,337 千円	うち特定財源	4,250 千円	正規職員業務量	7.00 人工	
令和 5年度決算額	49,373 千円	うち特定財源	2,941 千円	正規職員業務量	7.00 人工	
令和 6年度予算額	42,360 千円	うち特定財源	3,502 千円	正規職員業務量	7.00 人工	
指標	アウトプット活動指標 1	市公式ホームページトップページのアクセス数			という活動、業務を行うことで	
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定
		13,108,197	17,000,000	14,215,782	15,000,000	16,000,000
	↓					
	アウトカム成果指標 1	ユーザビリティに関するアンケート結果（総合）			という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定
		3.65	3.7	3.54	3.6	3.7
	指標 1 の評価、未達理由、今後の考え方	トップページのアクセス数は、インバウンドの回復などにより徐々に増加傾向にあるが、依然として目標には達していない。また、ユーザビリティに関するアンケート結果も前年より低下しているため、ページ数削減やリンク切れ解消等、今後もコンテンツ品質向上に継続的に取り組み分りやすい情報提供を目指す。				
	アウトプット活動指標 2	ふれあいパンフレットコーナー配架数（件）			という活動、業務を行うことで	
		令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定
		1,095	1,200	1,056	3,400	1,200
	↓					
アウトカム成果指標 2	配架枚数に対して市民が持ち帰った割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和 4年度実績	令和 5年度予定	令和 5年度実績	令和 6年度予定	令和 7年度予定	
					70%	
指標 2 の評価、未達理由、今後の考え方	配架数は、目標に達していないがパンフレットは常に埋まっている（次の配架待ちが生じている）状態を踏まえ、R7以降の目標をより妥当な件数とする。また、事業の効果を検証する指標として、成果指標として「配架枚数に対して市民が持ち帰った割合」を新たに設定する。R7の目標値は70%を予定。					
今年度の見直し内容	ホームページは、令和8年秋のリニューアル公開に向け、コンサルティング事業者支援業務（R6～8）を委託。現行ホームページの課題を分析し、リニューアル準備を進めている。					
来年度以降の方向性	引き続き各種広報媒体を活用し、適時適切な広報に努める。ホームページは、リニューアル公開に向け、情報分類やサイト構造の見直しを継続するとともに、次期ホームページシステムの調達及びシステム設計等のリニューアル構築業務を実施する。					